

柏崎守日本豚病研究会名誉顧問のご逝去を悼んで



日本豚病研究会名誉顧問の柏崎守先生におかれましては、平成29年10月11日にご逝去されました、享年78歳でした。柏崎先生は平成14年から22年まで4期8年にわたり日本豚病研究会の会長を務められ、その後は名誉顧問として本会の発展を支えてこられました。ここに謹んで哀悼の意を表すとともに、会員を代表して先生のご恩に心より感謝申し上げます。

柏崎先生は農林水産省家畜衛生試験場で細菌感染症の専門家として、豚の病気はもとより衛生管理を通して豚の生産性向上に取り組んでこられました。先生の信条は現場目線の研究であり、私が九州支場でウイルス研究を担当する第3研究室長だったおりには、当時の企画連絡室長である先生の一声で、支場のすべての研究室に臨床の文字が冠せられ、現場ニーズを踏まえた研究を目指すように厳命が発せられました。ちょうどその折に豚流行性下痢が発生しましたが、これを届出伝染病に指定するには確定診断法を確立する必要がありました。ウイルス分離を足掛かりに、病理診断用の抗血清の作製と中和試験用のウイルス株の樹立等々、今思うとよく頑張れたなと思いますが、現場ニーズに早く答えろという先生の叱咤なしでは不可能だったと思います。怖い先生でありながら酒の席では非常にやさしく、いつも通りの優しい顔でみんなを酔いつぶしていくのは、先生しか持っていない芸術的才能だと思っています。

今、豚病研究会は年2回の研究集会のうち1回を日本豚病臨床研究会と日本養豚開業獣医師協会の2つの団体と一緒に合同集会を開催しています。これは、インターセクショナルをモットーに現場目線でという豚病研究会の運営方針を反映したもので、柏崎先生の強い意志によって実現したものであるということを忘れてはなりません。先生のご遺志に報いるように、豚病研究会の発展と共に日本養豚産業がますます栄えるために皆で力を併せていくことを約束して、先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

平成29年11月
日本豚病研究会会長
津 田 知 幸